

# 令和8年度 事業計画

自 令和 8年 4月 1日

至 令和 9年 3月31日

一般社団法人五城目町シルバー人材センター

## 1 はじめに

秋田県がまとめた市町村別高齢者数・高齢化率の調査（令和7年7月1日現在）によると五城目町の高齢化率は52.5%と前年と比し0.4ポイント上昇、県内25市町村のうち5番目に高い率となっております。高齢化率50%を超えた市町村は6市町村となっており秋田県としての高齢化率40.3%に比し、かなり高齢化が進んでいることがうかがえます。

当町は町民の半数以上が65歳以上で占められている中、高齢者が高齢者を支えなければならない現状において、地域の高齢者が互いに支えあい、協力し合うことが自助・共助の進展にもつながり、住みよい暮らしやすい地域社会の醸成にもつながっていくものと考えます。

また、秋田県の令和7年高年齢者雇用状況等報告（令和7年6月1日現在）によると、70歳までの高年齢者就業確保措置の実施状況は前年比4.8ポイント増加の39.7%となっており全国平均を4.9ポイント上回っております。このようなことから依然として70歳未満の若い会員が非常に集まりにくい状況にあります。当センターとしても町広報誌への会員募集広告掲載や会員による勧誘等手だてを尽くしているものの、会員拡大にはなかなか繋がらない状況にあります。

このため農業分野では特に一時的に作業が集中することから依然として会員の手配ができないなどの事態が生じ、農業経験者の新規会員の掘り起こしが課題となっております。

当町は農山村地域であり兼業農家が多数を占め、稲作が中心となっております。兼業であるが故に全てを機械化するには予算的問題等があり、少なからず重労働を強いられているものと推察しております。このような背景のもと営農者の高齢化とともに後継者不足が課題となっており、農業経営の法人化が伸展しているものの、休耕田も目立つようになりました。

長年にわたり携わった経験豊富な農業経験者に直接働きかけ、入会を促しておりますが、長年の農作業による身体的負担等から入会までは至らない状況が見受けられるものの根気強く継続し、新規会員の掘り起こしにつなげてまいります。

また、当センターは高齢者の生活支援事業として五城目町と連携しながら高齢者世帯の間口除雪作業やゴミ出し、買い物代行などの支援事業を展開しており、大変好評を得ております。特に間口除雪作業では今年1月連日の大雪となり、除雪関連の依頼が急増しフル稼働状態でした。お客様から感謝のお言葉をいただき、就業会員にとっては最高の励みとなりました。しかしながら会員の高齢化が進む中、除雪作業に協力できる会員が不足し、冬期間の就業の主となる除雪作業は身体的にも負担が大きく、当該事業内容の見直しをする時期となっているのも事実であり、町と協議し連携を深めながら、また会員の理解を得ながら今後の取り組み方法を検討してまいります。

## 2 基本目標別計画

### (1) 包括的契約に係る事業

- ・包括的契約に係る業務委託料 25,300,000 円
- ・会員業務委託料 22,000,000 円

### (2) 普及啓発活動と会員の拡大

身近なところにきっと仲間がいるはずとの思いから前年度も引き続き「会員ひとり当たり1人勧誘」運動を続けて参りましたが、退職年齢の引き上げや、再雇用等で60歳代の若い方々は現役として働いている者が殆どで、なかなか入会に結び付かない現状にあります。

前年度は3名の新規会員が仲間入りをしたものの、死亡や体調不良により2名の会員が退会しております。新規に入会した会員も70歳を超えてからの入会であり会員の高齢化は進む一方です。高齢化が進む当町では冬期間の除雪作業の需要が多い割に除雪協力就業会員が不足している状況です。更に温暖化の影響もあってか重く湿った雪の降る日数が多くなり、会員の身体的負担は非常に大きくなっております。

また、農業分野や草刈り作業なども時期的に集中することから、会員への負担や体力面などから新規会員の更なる拡大が必要です。

会員確保対策として、町より協力を頂き広報誌に各種お知らせ等掲載して

いただくとともに、リーフレットや職場体験等を活用しシルバー事業について周知を図り理解を深め、引き続き「会員1人当たり1人勧誘」を目標として会員確保に努めます。

○令和8年度新規会員入会目標値 10人（うち女性会員5人）

- ・町広報誌に入会説明会を含め、各種お知らせを掲載していただき、シルバーのPRに努めます。
- ・会員募集広告及び仕事内容をまとめた広告を町広報誌に掲載し、シルバー事業の普及と会員拡大に向けた活動を展開します。
- ・会員1人につき「1人勧誘」を継続実施します。
- ・新規会員募集のための相談会や職場体験を開催します。
- ・女性会員の募集については、女性会員による「口コミ勧誘」を行い、新規会員の拡大を図ります。
- ・ボランティア会場等での普及啓発活動や会員募集相談会を実施します。

### （3）就業機会の拡大

ガソリンの暫定税率が廃止され、少しは負担軽減につながったようにも感じられたのもつかの間、中東情勢悪化からエネルギー価格高騰で世界経済が混乱に陥る中、先が見通せず更なる物価高加速が懸念されており、依然として生活に直結する食料品や電気代等の値上がりなど、物価高騰の波が収まる心配が感じられない状況が続いております。

また、当町においては今年度から水道料金が値上げされることになり、このような状況下では節約・切り詰めなどを考慮し家計を支えるにしても限界があります。このような状況においても個人など一般家庭からの受注が大半を占める当センターにおいては個人消費の動向に注視しつつ、積極的な営業活動を展開していかねばなりません。

公共、企業、一般家庭等受注業務は積極的に営業活動を行うとともに、新たな業務の掘り起こしや受注履歴に基づき未受注となったお客様を洗い出し、会員の就業機会の確保・拡大に努めます。

なお、就業先での親切丁寧な「おもいやり」の心をもって接することは仕事をするうえで最も重要なことであり、今後の受注拡大にもつながると考えます。

- ・会員による過去の発注者履歴に基づき受注拡大を図ります。
- ・お客様との接遇には十分な配慮をもって「おもいやり」の心で接します。

- ・請負仕事内容を町広報誌に広告を掲載し、受注拡大に努めます。
- ・町内企業への派遣を目指し、企業へ働きかけます。
- ・派遣先の事前見学や就業体験実施に向け企業と信頼関係構築を図ります。
- ・各種技能講習を開催し、会員のスキルアップに努めます。

#### (4) 安全・適正就業の推進

令和3年度に安全適正就業委員会を立ち上げ、令和4年度は安全就業基準を策定しております。

新型コロナの感染は収束したわけではなく、またインフルエンザ感染や熱中症対策等お互いに十分注意しながら最低限の対策は会員自ら講じるよう働きかけ「自分の身は自分で守る」を徹底してまいります。

同時に安全適正就業委員会が主体となって、始業時の安全点検を義務付け事故の未然防止を徹底し、就業現場のパトロールを行い事故防止に努め、会員自らも健康に気を配り、万全な状態で作業を進められるよう呼びかけます。

- ・3人以上で作業を行う場合はリーダーを決め、リーダーを中心に現場確認のほか、作業手順等共有し作業前・中・後の注意喚起を図ります。
- ・安全パトロールを適宜実施します。
- ・安全適正就業委員会による研修を実施し、安全適正就業意識の向上を図ります。
- ・労災事故防止徹底を図ります。
- ・物損事故防止の徹底を図ります。
- ・草刈り時の飛び石事故の撲滅を図るとともに安全対策を講じます。
- ・「作業中の安全は最優先」とし、適正な就業と事故防止で「事故ゼロ」を目指します。
- ・安全標語に出品するとともに、安全就業に対する意識の高揚と啓発を図ります。

#### (5) 財政基盤の強化及び事務局体制の整備

新たな契約方法へ移行しており、なかなか進まないデジタル化への更なる対応、新たな業務の掘り起こしや開拓により財源を確保し、運営の安定に努めます。

- ・デジタル化への対応強化に努めます。
- ・新たな顧客や新分野への開拓、派遣への取り組みを強化します。

- ・新規事業の受注拡大に向け「口コミセールス」及び「作業請負広告」を町広報誌に掲載し、受注拡大を図ります。
- ・諸費用の節減に努めます。

### 3 地域活性化事業

#### (1) ボランティア活動

ボランティア活動を通じて、会員相互の交流や連帯意識の向上を図ることを目的に実施します。

本活動は町民からも大変感謝されており、ボランティア活動をしている光景を目にした対象地域の住民が手伝いに出てくるなど地域貢献に寄与する会員の意識の高揚にもつながっているほか、会員同が一同に会してのふれあいの場となっております。

活動場所となるケヤキ通りは本町中心部のメイン通りであり、地域住民はもとより来町者もほぼ必ず通る道路となっていることから、500年を超える歴史ある五城目朝市等、本町を訪れる方々の好印象につながるものと確信しております。

高齢でありながらも地域に貢献できているという喜びとともに、自己アピールの場であり、当シルバー人材センターのPRにもつながっております。

#### ○ボランティア活動の実施内容

- ・道 路 清 掃：ケヤキの落葉清掃
- ・距 離：片側約500m（両側）
- ・作 業 時 間：2時間
- ・参加予定人員：40人